



地域に暮らす人々と共に心あたたかな医療をすすめたい

特集

内科系急性期病棟（7病棟）

- ▶ 関連施設リレーだより 密着！訪問看護の現場～むらおか訪問看護ステーション～
- ▶ 看護部だより 手術前後の患者さんの思いを聴く
- ▶ 現場の Expert 心臓リハビリテーション指導士
- ▶ トピックス PET-CT 装置を導入しました など
- ▶ インフォメーション 令和7年度公立八鹿病院組合正規職員募集 など

2024

11
月号

公立八鹿病院基本理念

私たちは、地域中核病院として、医の倫理を基本に、質の高い医療と優れたサービスをもって、住民の健康を守り、地域の発展に尽くします。



急な病気や検査・治療後など、状態が安定するまで細やかに観察や評価し、病状の悪化と回復を支援します

内科系急性期病棟

7病棟

八鹿病院は、病気やケガなどで入院する急性期病棟、病状が安定した患者さんを担う地域包括ケア病棟や療養病棟、回復期リハビリテーション病棟など、急性期から慢性期まであらゆる段階にある患者さんへ対応できる病院です。

今回ご紹介する急性期病棟（7病棟）は主に内科系疾患の一般急性期病棟です。消化器疾患を中心に、循環器疾患、呼吸器疾患、脳血管疾患の治療をおこなっています。予定入院はもちろんのこと、緊急入院、他院からの転院された患者さんが入院されるなど、日々治療やケアにあたっています。

急性期病棟で働く看護師は、専門スタッフとさまざまな連携をとり、安心安全な医療と療養生活の提供をおこなっていただけるようにまい進しています。



内科系急性期病棟では、さまざまな病気の治療や検査を受ける方が入院されています

消化器系

食道・胃・大腸・肝臓・胆のう・膵臓などの病気、内視鏡検査・治療、抗がん剤治療 など

循環器

心臓病（心不全、不整脈治療）、心臓ペースメーカーの植え込み、心臓リハビリテーション など

呼吸器

肺炎、肺がん、呼吸不全、抗がん剤治療、人工呼吸器治療、気管支鏡検査 など

一般内科

肺炎、尿路感染、糖尿病、脳梗塞 など



急性期病棟で働く看護師の役割

集中的な検査・治療が必要なときから状態が安定するまで患者さんやご家族のことを第一に考え、看護をおこないます。

急病や治療後など、細やかに観察や評価をし、病状の悪化防止と回復を支援する

内科系急性期病棟では、病気を発症して間もない時期で病状が不安定な方や、治療や検査後の方、抗がん剤治療を受けられるがん患者さんなどが入院されています。体の状態を細やかに観察・評価したり、処置や検査の介助に対応するなど、さまざまな治療や検査を安全におこなえるように関わっています。特に内視鏡治療を受けられる方が多くおられるため、安全に治療を受けてもらえるように、内視鏡センターとの連携や治療前後の状態を細かく観察するなど、腹痛や下血など合併症を含む異常の早期発見に努めています。



器具を使用する点滴のダブルチェックをおこなっているようす



チーム医療の中心となり、安心安全で一人一人に合わせた医療を提供する

私たちは医師だけではなく看護師同士、介護職、薬剤師、リハビリ、管理栄養士、医療ソーシャルワーカーなど専門分野のスタッフとの連携の中心となり、チーム医療を担っています。

看護師

病棟内だけでなく、他の病棟、内視鏡センター、外来や訪問看護などと情報を共有し、連携をしています。

介護職

患者さんに快適な入院生活を送っていただけるように日常生活への援助を一緒に協力しておこないます。

- 寝返りへのケア
- 食事介助
- トイレやおむつ交換などの排せつケア
- 体を拭いたり入浴の介助
- 口腔ケア など

薬剤師

薬剤に関する相談や医師からの処方指示を伝え、確実な薬剤を提供できるようにしています。

リハビリ

現状の動作能力やリハビリの展望などを相談します。

管理栄養士

患者さんに合わせた食事の摂取状況や飲みこみ具合などから食事メニューや形態、提供量を相談します。

医療ソーシャルワーカー

在宅支援が必要なのかなどを一緒に検討しています。必要時にはケアマネジャーなど地域支援者との窓口として情報共有をおこなっています。

退院に向けた支援

但馬地域は高齢化率が高く、高齢者世帯、高齢者一人暮らしの方も多くおられます。そんな方々が入院されると、「いつ、どのような状態で帰ってくるのか?」「今まで通りの生活ができるのか?」など不安が出てくるかと思えます。退院後に安心して生活ができるよう、さまざまな調整をしています。

- 患者さんが入院される前から、病棟看護師、医療ソーシャルワーカー、退院支援看護師で退院に向けて困りごとを共有しています。
- 担当ケアマネジャーと情報交換し、治療経過に合わせて速やかに在宅生活へ復帰できるように連携しています。

療養先の検討

自宅? 施設入所?
他病棟へ転棟?

介護サービスの検討

介護保険申請の準備
必要なサービスの検討

困りごとの共有



ケアマネジャー

医療ソーシャルワーカー

看護師

ケアマネジャーと入院中の様子や今後の相談をおこなっているようす



看護師に同行しました



ご家族と時には笑いあひながら、テンポよく看護ケアを実施。6年目となる看護師は利用者様のこだわりも熟知しているようでした。

自宅では利用者様やご家族が主役。望まれる生き方や暮らしが続けられるように。むらおか訪問看護ステーションは、公立村岡病院を拠点に、日々看護師やリハビリスタッフ（理学療法士）がご自宅に訪問しています。現在約80名の方が訪問看護を利用されています。高齢化が進むこの地域は、特に80〜90歳代の利用者様が多く、100歳代の方を70歳代の方が介護をされているご家庭もあります。老老介護や一人暮らしの方が多く、病気や加齢で体が不自由など、自宅で生活をするにもサポートが必要な方がたくさんおられます。私たちは、利用者様やご家族が住み慣れた自宅で望まれる生き方や暮らしが続けられるように必要なケアをおこない、利用者様やご家族の後ろからそっと支えています。

密着！訪問看護の現場

むらおか訪問看護ステーション



お背中拭きますよ〜

血圧や心音など健康状態を確認後、体の清拭と足浴を実施。「お母さん、お湯お願いします」「はいはい」と阿吽の呼吸で準備完了。



皮膚の傷を悪化させないために、薬を塗布しました。



お薬セットしました。しっかり飲んでくださいね〜

薬の飲み残し、飲みすぎがないかチェック。次回訪問時までの薬も朝・昼・晩・寝る前に分けてセットします。

今の生活を維持できる方法を常に考え、医師やケアマネジャーなどと連携しケア内容を調整しています。利用者様とご家族に何が必要かを読み取って提案やサポートをするようにしています。訪問看護では最期の過ごし方など命について、人生についてお聞きすることもあります。お話の中でいろいろ勉強させていただきながら、利用者様の立場（子供、妻、親）として私だったらどう考えるかを感じながら看護しています。



「一緒に写真とることなんてない〜」と笑いながら、看護師と記念撮影。



次回の訪問予定を確認しながら「またきます〜」とさようなら。車が出発してからも笑顔で手を振っていただきました。





看護部だより

手術前後の患者さんの 思いを聴く

手術室 看護師 藤原真衣



術前診察で手術の説明をする藤原看護師

4月から手術室で勤務し、半年が過ぎました。病棟や外来とは違う新しい学びや経験が多く、日々先輩方のサポートを受け、周術期看護のやりがいを感じています。

手術室看護師は、手術中に患者さんと関わるだけではなく、手術前後に病室を訪問しています。術前の訪問時には、手術や病気に対しての思いや不安を訴える方もおられます。そのため、手術の説明に加え、手術に向き合う患者さんの思いをしっかりと傾聴するなど、

少しでも安心して手術に臨んでいただけるように関わることが大切になっています。

術後には「ありがとう」「安心して手術に行きました」などの声を聞き、手術は患者さんの人生において重要な局面であると改めて感じています。今後も学ぶ姿勢を大切に、専門的な知識や技術を身につけて成長していきたいと考えています。

手術室看護師は、患者さんと関わる時間が少ないですが、患者さんに寄り添い、よりよい看護をおこなえるよう頑張りたいです。

リハビリスタッフに同行しました



おおちゃくもんだからな～

リハビリをするのはとても大変なんですよ。

訪問時以外にも自主的にリハビリに励む利用者様。より効果的な方法や車いすの置く位置など、適宜アドバイスをしました。



健康状態を確認後、歩行練習の前に腕や足の筋肉をほぐしたり筋力トレーニングを実施。

しんどいときは深呼吸で呼吸を整えましょうね。



リハビリ中、酸素飽和度を測るなど、体の状態を確認しながら安全に実施します。

がんばって！



自宅の廊下で歩行練習と立ち座り練習を実施。励ましの声をかけながら。



リハビリを終え「やれやれ」と笑顔で利用者様。大きな笑い声が響きました。

普段の生活のようすを見させていただき、動きやすさや安全を確認し、転倒しないようアドバイスしています。環境を活かしながら身体機能の維持、日常生活動作の維持を目的に利用者様やご家族の思いに寄り添い、よりよい暮らしが続けられるように力を添えていきたいです。

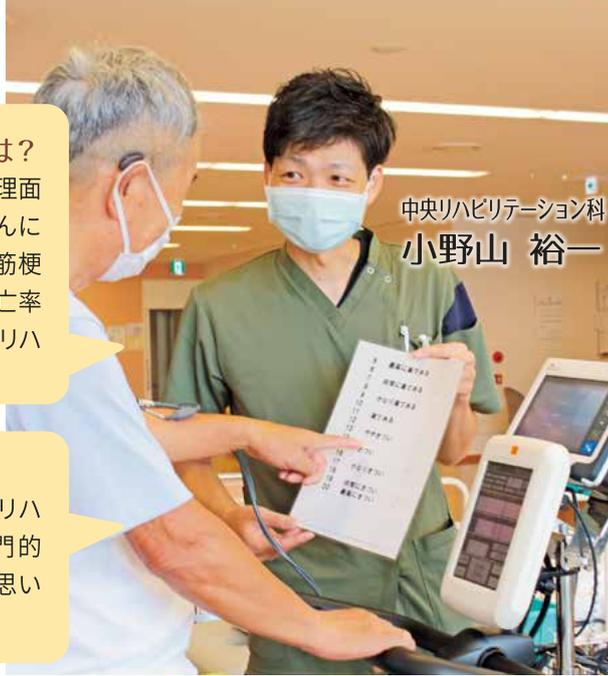


当院で活躍する
認定・専門職員を紹介!

現場の Expert エキスパート

File.24

心臓リハビリ テーション 指導士



中央リハビリテーション科
小野山 裕一

心臓リハビリテーション指導士とは？
運動だけではなく、薬、栄養、心理面
など、さまざまな視点から患者さんに
介入し、循環器疾患（心不全、心筋梗
塞、狭心症など）の再発予防や死亡率
の低減など予後の改善を図る心臓リハ
ビリテーションのスペシャリスト。

資格を取得したきっかけ

当院では2022年10月から心臓リハ
ビリテーションを開設。より専門的
な知識や幅広い知識を得たいと思い
取得しました。

心臓リハビリテーションとは

心臓病の患者さんが体力を回復して自信を取り戻し、快
適な家庭生活や社会に復帰するとともに、再発や再入院を
防止することを目指して、運動療法（リハビリ）、食事療法、
体調管理などをおこなう総合的活動プログラムのことです。

【心臓リハビリテーションの目的】

- 自分に合った運動をおこなうことで体力を回復する
ことができ自信を取り戻す
- 快適な家庭生活や社会生活に復帰することができる
- 再発や再入院を防止することができる

日々取り組んでいること

心不全入院や心筋梗塞後の患者さんに対して、入院中
や退院後の外来でリハビリをしています。リハビリでは
心臓への負荷を気につけて、特にバイタル（脈拍・血圧・呼吸等）
に気をつけながら実施しています。

また、自宅でのタイムスケジュールやご家族との過ごし
方など、患者さんの生活歴や大切にしていることの把握も
大事にしています。理由としては、運動時間の確保が難し
い場合、家事を一つ増やすなど、その方の生活の中で活動
性が向上できる要素がないかを考えてアドバイスができる
からです。疾病管理面でご家族の協力が必要な場合や、社会
復帰に向けたアドバイスをおこなううえでも重要となります。

今後の目標、大切にしたいことは？

生活習慣の欧米化に伴う虚血性心疾患（心筋梗塞や狭
心症など）の増加や高齢化による高血圧や弁膜症（心臓の
弁の障害）の増加により、心不全の患者さんが急増してい
ます。多職種と連携を強化し、心不全の発症や重症化を防
ぐための体制づくりを進めたいと考えています。

心臓リハビリテーション

対象となる方は？

次の疾病を治療中の方
が、対象となります。

- 慢性心不全
- 心筋梗塞
- 狭心症
- 大血管疾患
（大動脈瘤）
- 末梢動脈疾患
- 心臓病手術後の方
など



患者さんの声

当院の心臓リハビリテーション
を利用されている患者さんに、
お気持ちを伺いました。



Aさん
(88歳 女性)

心不全の悪化により
当院で入院。退院後、
外来で心臓リハビリ
テーションを週に1～
2回程度利用された。

退院後は、自宅での生活がどうなるか
と不安でした。八鹿病院でいろいろな職員
さんに相談しながら、安心して運動がおこな
えています。自宅での立ち仕事や炊事が少し
ずつおこなえるようになってきて嬉しいです。
以前、おこなっていたグラウンドゴルフや、
友人との旅行を目標に、心臓リハビリを
継続したいと思っています。

Aさんは、心臓リハビリ開始2か月
後の6分間歩行試験で、歩ける距離
が57メートル増加。前回の試験と比
較して26%も改善されました。



NEW

ペット・CT装置を導入しました



写真：Discovery IQ
(GEヘルスケアジャパン様提供)

当院では、令和6年10月に但馬初、最新鋭のPET・CT装置を導入し、11月より診療を開始しました。PETとは positron emission tomography (陽電子放出断層撮影) の略で、放射性医薬品を体内に投与して、その分布を専用のカメラで画像化する検査です。このたび導入したPET・CT装置は、PETとCT(コンピュータ断層撮影)を組み合わせたもので、一度に全身の画像(輪切り、縦切り)を撮影することで、病気の存在や広がりをもより正確に調べることができます。近年、PET・CT検査は「がん」の診断に加え、「認知症」治療のための検査として、また「PET検診」としても利用されています。導入したPET・CT装置を多くの方に活用いただき、地域医療へ貢献していきたいと考えています。

10/5

院内災害訓練を実施しました

10月5日(土)、当院にて院内災害訓練をおこないました。当日は約80名(うち看護学生15名)が参加。但馬南部を震源とする最大震度6弱の直下型地震発生により、当院で多くの傷病者を受け入れるという想定のもと実施しました。

コロナ禍により、近年は机上での訓練が続いていましたが、今回は実際に身体を動かした訓練が実施できたことで、災害時の役割や初動についてより深く理解することができました。今回の訓練で見えた課題を検討し、もしもの時のために体制を整えていきたいです。



栄養管理科スタッフ監修!
健康よかレシピ

第3回

今が旬! さばの味噌煮

1人分(目安) ◆カロリー: 216kcal
◆たんぱく質: 15.0g ◆脂質: 11.6g ◆食塩: 1.8g ◆ビタミンD: 3.3mg

材料 さば …… 4切れ(一切れ60~70g程度)
(4人分) 煮汁 ★水 …… 300cc しょうが …… 1かけ
★酒 …… 100cc (煮汁用と飾り用)
★味噌 …… 45g 濃口醤油 …… 5cc
★砂糖 …… 30g

動脈硬化や心筋梗塞予防として、積極的に取り入れたいですね!



さばには、ビタミンD(カルシウムの吸収を助ける)、良質のたんぱく質、不飽和脂肪酸など多くの栄養素が含まれています。EPAやDHAは、血栓の予防や高血圧の予防が期待できます。

- 1 さばは4切れにおろし、皮に切り込みを入れておく。さっと湯を通して臭みや汚れを落とす。
- 2 4切れが入る大きさの鍋に、煮汁の材料(★)を入れ、ひと煮立ちさせる。
- 3 煮立てた煮汁に、さばを皮目を上にして重ならないように入れる。煮立ったら、あくを取って落とし蓋をし、中火で5分煮る。
- 4 煮汁が半分以下になったら落とし蓋を取り、飾り用の針しょうがを加えてさらに10分程度煮詰める。
- 5 最後に香りづけの醤油を回し入れ、火を止めて全体をなじませる。



レシピ動画公開中!
右のQRコードの当院ホームページからご覧ください。



レシピに関する簡単なアンケートにご協力ください



八鹿病院、村岡病院に
入院される方へ

11月から「病衣使用料」が変わりました

入院患者さんにご利用いただいている「病衣」について、諸経費の値上げなどに伴い、11月1日以降に使用された分から次のとおり改定いたしました。ご負担をおかけいたしますが、今後もより一層のサービス向上に努めてまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。



病衣使用料
(1日あたり)

110円(税込)

【お問い合わせ】

公立八鹿病院 医事課・各病棟
公立村岡病院 管理課

令和7年度 公立八鹿病院組合 正規職員募集

詳しくは、当院のホームページを →
ご確認ください！ 病院見学も受付中！



		受験資格 (要件を全て満たす方)	試験日 (申込締切 ※必着)
看護師 助産師 (産後ケア担当)	30名程度	・昭和50年4月2日(令和6年度中採用の場合は昭和49年4月2日)以降に生まれた方 ・免許取得済みの方または採用日までに取得見込みの方	⑧令和6年 11月16日(土) ⑨12月21日(土) ⑩令和7年 1月18日(土) ⑪2月22日(土) ⑫ 3月15日(土)
訪問看護師	4名	・昭和50年4月2日(令和6年度中採用の場合は昭和49年4月2日)以降に生まれた方 ・免許取得済みの方で医療機関における看護師の臨床経験が3年以上の方	※申込期限は各試験日の前週木曜日必着。 ※募集定員に達した場合、以降の試験は実施しません。(①~⑦回目試験の申込期間は終了)
薬剤師	1名	・昭和60年4月2日(令和6年度中採用の場合は昭和59年4月2日)以降に生まれた方 ・免許取得済みの方または採用日までに取得見込みの方	令和6年 12月14日(土) (申込締切:12月9日(月))
管理栄養士	1名		
言語聴覚士	2名		
情報システム 管理職員	若干名	・昭和60年4月2日(令和6年度中採用の場合は昭和59年4月2日)以降に生まれた方 ・高等学校以上の学校を卒業した方または令和7年3月31日までに卒業する見込みの方。 ただし、公的機関・民間企業等における情報システム管理の職務経験がある方が望ましい。	
事務職員 (総合マネジメント職)	若干名	・平成7年4月2日以降に生まれた方 ・大学(短期大学を除く)を卒業した方および令和7年3月31日までに卒業する見込みの方	

【採用日】 令和7年4月1日

※年齢・学歴・職務経験の要件をみたしている場合は令和6年度中の採用も可(事務職員を除く)
※資格免許取得(卒業)見込みの方は、免許取得(卒業)が採用の条件です。

【お問い合わせ・お申し込み】 公立八鹿病院 人事会計課 電話: 079-662-5555 (代) Mail: jinji@hosp.yoka.hyogo.jp

医師異動のお知らせ

【新任医師】

よろしくお願ひします

令和6年10月1日付

おかじま みわ
【外科】岡島 美和



【退任医師】お世話になりありがとうございました

令和6年9月30日付 【外科】梶 祐貴

【老人保健施設】山田 幸則

令和7年度 医師修学資金利用者募集

2名募集

入学金や授業料などに
総額3,152万円の
サポートが受けられます!



受付期間 令和6年10月24日(木) ~ 12月16日(月)

試験日 令和6年12月21日(土)

詳しくは当院ホームページにてご確認ください。

【お問い合わせ・お申し込み】 人事会計課



[編集・発行]

公立八鹿病院 (担当) 総務課

〒667-8555 兵庫県養父市八鹿町八鹿 1878 番地 1

TEL 079-662-5555 (代) <http://www.hosp.yoka.hyogo.jp>

SNS 公式アカウント情報発信中!

ぜひ「フォロー」や「いいね」をお願いします

Instagram



Facebook

